



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年12月12日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.20

トピックス

- ごあいさつ
- 東京支部 HP 開設
- キャリアサポート事情
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- 「カリフォルニアの風」
- 「フランス編」
- 校友会メンバー紹介

* 東京支部 NEWSLETTER 第20回 *

師走到来！今年も後1ヶ月「師も走る忙しい月？」と考えがち。でも、「冬が始まるとものが美味しくなる」という日本の伝統的な食文化があるではないですか。霜が降りると菜類の味が増すというし、寒ブリ、寒ブナは脂がのって珍重されるし、北陸では「ブリ起こし」という、怖い雷も大漁を告げる兆しです。季節を楽しむ「ゆとり」をもつのもいいものです。



この東京支部 NEWSLETTER も20回目となりました！
KUFS 現役学生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思えます。まだ NEWSLETTER を受け取られていらっしゃらない方をご紹介くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> tonegawa@gm-group2.net

校友会東京支部ホームページ開設のお知らせ

いよいよ東京支部のホームページが立ち上がります！！

これまで準備をしてきました東京支部のホームページが2010年の1月に皆さんにご案内できる運びとなりました。ホームページ作成の目的は、卒業生と卒業生、現役学生と卒業生を結ぶコミュニケーションサイトの構築です。現在、関東地区には全卒業生の約10%に相当する4000名が在住しています。そして、毎年1000名以上の卒業生が外大を卒業します。そのうち、3割近い卒業生が首都圏に向けて就職をしています。今後、東京エリアへ就職をする学生の数は増すことはあっても、減ずることはないと思われています。

そんな中、この10月から東京駅前にキャリアサポートセンターの東京オフィスが新大手町ビル1階に創設され、就職活動中の学生が首都圏の就職活動拠点として活用しはじめています。超就職氷河期と叫ばれている昨今、私たち卒業生も大学側と一体となって就職活動学生を様々な側面から支援していくことが期待される場所です。そんな意味で、東京支部のホームページは、ニュースレターに続く、卒業生はもちろん現役学生にとっても頼りになる強い媒体といえます。新設された東京オフィスが face to face のアナログ空間とすれば、東京支部のオフィシャルサイトは便利で高速なデジタル空間として、卒業生と現役が行き来できる有効なコミュニケーションサイトを目指したいと思います。

東京支部ホームページ開設！

現役学生と卒業生を結ぶ
コミュニケーションサイトです！

キャリアサポートセンター
東京オフィスと共に
力強いコミュニケーションサイト
を目指します！

キャリアサポート事情

東京オフィスの取材をしました

外大卒業生アドバイザー4名

交代制で就職活動支援に従事

すでに18名の学生が利用

夜行バスで上京する学生に

オフィスが開放され活用されます

訪問企業や東京事情の

情報収集の場として活用

オフィスの活用増大し、活性化

が期待されます。

キャリアサポート事情



就職活動を行う学生支援を目的にオープンした東京オフィス。その現状を取材してみました。オフィスは10月2日に開所式が行われ、10月19日が実質的なオープン日でした。

京都外国語大学卒の“卒業生アドバイザー”4名が、交代制でオフィス運営と就職活動支援に従事されています。この間、11月30日時点で、就職活動のため利用した学生の数は18名とのことでした。

大半の現役学生が夜行バスで上京します。東京駅に着くのは午前6時台と7時台です。これまで首都圏での就活中の学生にとって、当日の試験や面接、企業訪問の時間までどこでどう過ごすかが一つの悩みでもありました。東京オフィスに事前に予約をいれれば、午前8時にはオフィスが開けられ学生は利用できます。事前の予約があれば土日も利用でき、午前7時半に東京に着くバスに乗ればそのままオフィスに直行できます。また、学生が京都に戻るのも夜行バスが多いとのこと午後8時までオフィスが開放されます。早朝・深夜バスを利用しなくてはならない学生にとっては大変便利かつ重宝な空間となっています。

学生はアドバイザーから、訪問先企業の住所やアクセスを教えてもらったり、東京の事情説明を受けたりと、情報収集の場として活用しています。また、面接などで来る学生には、深夜移動でその日の朝の新聞などには目を通すこともできないため、あるアドバイザーは経済誌などから社会や政治面のニュースを抜き出し、それをコピーして学生に渡してあげるなど、学生の側に立った支援をされ、大変喜ばれています。

現役学生に、このオフィスの存在が正式に伝えられたのは10月3日の3年次生を対象として行われた就職ガイダンスが最初とのこと、今後、オフィス利用がますます増大し、活性化していくものと思われます。是非、卒業生の皆さんも東京オフィスに立ち寄ってみてください。

東京オフィスの電話番号は 03-6225-2058 です。



外大生・横顔シリーズ

平成2年度英米語学科卒業

有馬由紀子さん

短大からの編入にもかかわらず

勉強熱心ではありませんでした

卒業後、興味があった建築関連

の商社へ入社

7年前京都でイタリアンインテリア

輸入会社を設立

子供を持ち、健康の大切さを感じ

ホームSPAを広めることを企画中



平成2年度英米語学科卒業
有馬由起子さんのご紹介です

外大生活では、短大から編入したにも関わらず、岡崎動物園での実習や、オートバイのツーリングサークル、志賀高原ホテルでの毎冬のアルバイトにスキー三昧と、勉強に熱心な学生ではありませんでした。

卒業後も元々建築に興味がありましたので、建材商社に女性の総合職1期として営業職で入社後、開発部で輸入建材と出会い部門の廃止とともに退職し、ヨーロッパのインテリアの輸入会社や設計事務所での輸入業務を経て、7年前に京都でイタリアのキッチンやインテリアの輸入会社を興しました。4年前に港区青山の工務店内にショールーム RADUNO を開設しましたが、2年の契約終了後、現在店舗はありません。不得手な英語と経営に格闘している毎日ですが、自分の好きなデザインの会社と取引を始めた、イタリアのデザイナーと商品開発をしたり、京都の伝統産業とコラボすることなどに楽しみがあります。子供を持ち、自分も年齢を重ねて、健康の大切さを感じているところへ、イタリアのSPAを設計している建築家と出会い、今は住まいに居ながらにして健康を保ち、リラックスできる“ホームSPA”を日本で広めようと企画しています。来年はまた、良いデザインを見られる場所を東京に持ちたいと思っておりますので、その節にはぜひ皆様にも遊びにお越し頂ければと思っています。

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

渡辺庸生さん

7年前週末の午後

上流階級を思わせるアメリカ人

数人の来店



メキシコ料理レストラン
La Casita オーナーシェフ
昭和46年 イスパニア語学科中退
渡辺庸生さん

7年程前の週末の午後の事、英国風の上品なスーツを身につけた、いかにも上流階級を思わせるアメリカ人数人が来店した。側には格闘家のボブ・サップに似た、屈強そうなボディガードまで付いている。いったい何者だろう？

料理の鉄人を見て、料理を食べ

にきたと挨拶される

なんとロスアンジェルスディズニ

ーランド副社長の肩書きが...

様子を伺いながら注文を取り始めると、リーダーらしき男から「料理の鉄人を見た、君の料理が食べたくて来た。」と挨拶された。そういえば、Iron Chef (アイアン・シェフ) のタイトルで米国全土で大ヒットしているという噂を聞いたことがあった。お薦めの料理をということで前菜から一品を順に提供している間、彼らは上機嫌で口々に「美味しい！」と声を上げていた。精算時、名刺を交換して驚いた。そこにはロスアンジェルス・ディズニーランド、副社長

感慨深いエピソード

ヒューストンのメキシコ料理

チェーン店を営むメキシコ人来店

忠実に再現された献立と

店内内容の満ち足りた表情での

食事光景に賞賛と励ましの言葉

この仕事を選んでよかったと痛感

と肩書きがあった。聞けば、東京ディズニーランドの調印式があつて3日間来日したが、ここにはどうしても来たかったと話してくれたのである。忙しいスケジュールの中、来店してくれたお礼を言うと、全て美味しかったと褒めてくれた上、ミッキーマウスのネクタイピンまでくださった。約500人もの挑戦者が挑む番組なのに、米国人にとってはメキシコ料理が一番身近で、私が印象に残ったらしい。

それからは西海岸だけでなく、ボストンやニューヨーク、シカゴ南部などから数多くの人々が来店してくれたが、中でも感慨深いエピソードはヒューストンでメキシコ料理のチェーン店を営むメキシコ人が訪ねてきたときのことである。娘と共に日本観光に訪れた彼は、京都、奈良を巡る中で東京滞在はたった2日。その両日ともラ・カシータで食事をしながら話し込んでくれた。自分も異国の地でメキシコ料理の美味しさを普及させようと頑張っているが、日本人である私がメキシコ料理の真髄を表現している姿を番組で見た、どうしても逢いたかったと・・・。

忠実に再現された献立は彼の心を打つだけでなく、店内にいた何組もの日本人の客たちが満ち足りた幸せそうな表情で食事をする光景がよほどうれしかったのか、目に涙を溜めていた。プレゼントされたメキシコのCDには賞賛と励ましの言葉がスペイン語で書きなぐられていて、今も大切にしている。「料理の鉄人」の影響度もさることながら、料理という媒体を通じて、まるで歌のように人々の胸に響く出来事の数々を思うと、料理人冥利に尽きるだけでなく、つくづくこの仕事を選んでよかったなと痛感している。

～メニューの一部をご紹介します～



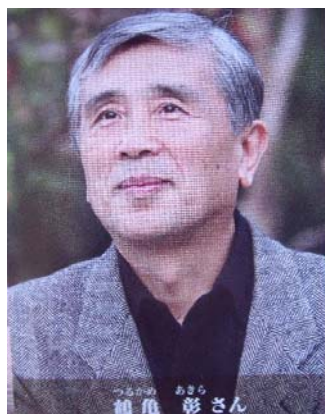
アボガドディップ



季節限定豚肉のスマーク

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

海外便り「カリフォルニアの風」



カリフォルニア在住の
昭和38年度英米語学科卒業の鶴亀彰さん
からのお便りです。

「平和なる世界への祈り」

キッチンから妻が夕御飯の準備をしながら
聴いているCDの音楽が聞こえています。
「千の風になって」で知られる秋川雅史さん
が歌っています。

先だってロサンゼルスで行われた彼の公演を聴きに行った際に彼女が購

昭和38年度英米語学科卒業

鶴亀彰さん

平和なる世界への祈り

妻がキッチンで秋川雅史さんの

CDを聞いています

私はリビングでオバマ大統領の演説を聞いています。

ノーベル平和賞をもらった彼が人々を殺す兵士を送ろうとしています

憎しみと復讐の輪廻
何とかならないものでしょうか！

妻と一緒に世界を見る機会が何度もありました

人間の恨みや憎しみの背景には怒りや苦しみがある
その原因は痛みや悲しみ

3万人増派費用は300億ドル
このお金が対話や経済支援に使われれば良い結果が・・・？

オバマ大統領の天皇陛下へのお辞儀が批判を受けた

入したものです。「こよなく晴れた青空を悲しと思うせつなさよ」と流れる曲は原爆で愛する妻を失った悲しみを歌う名曲「長崎の鐘」です。

私はリビングルームでテレビを観ながらオバマ大統領の演説を聞いています。アフガニスタン戦略を国民に説明する彼の熱弁が全米同時に放送されています。ウェストポイント陸軍士官学校での演説でアメリカがアフガニスタンから撤兵するまでの予定を語り、そのために現地の司令官の要請を考慮し、あらたに3万人の兵士を増派すると伝えています。

ノーベル平和賞を貰った彼ですが、その彼がアルカイダやタリバンなどの名前が付いているとはいえ、また人々を殺す兵士を送ろうとしています。中には誤爆や戦いに巻き込まれ、命を失う罪も無い人々も増えるでしょう。またアフガニスタンが地球上のどこかにあるかも知らなかったような十代・二十代のアメリカの若者が危険に身をさらすこととなります。

いずれもが正義を唱え、お互いを殺し合い、その結果、更に憎しみと復讐の輪廻を強めて行きます。何とかならないものでしょうか。アメリカは2001年9月の同時多発テロの再現を阻むために、そしてアルカイダがパキスタンの核爆弾を手に入れてアメリカを始め世界に災害を与えないようにするためにアルカイダを滅ぼそうとしています。

私は妻と一緒に2003年から何度も世界を見る機会がありました。その旅で私の父が乗っていた潜水艦が沈めたオランダの潜水艦の艦長や機関士官の娘さん達と知り合いました。また逆に私の父の潜水艦を沈めたイギリスの潜水艦の艦長と会いました。それ以外にも太平洋戦争で受けた心の傷のため今でも日本を憎む元敵国の人々にオランダやアメリカで会いました。

その体験から学んだことは人間の恨みや憎しみの背景には怒りや苦しみがあり、そして怒りや苦しみの原因には痛みや悲しみがあると言うことです。通常私達は表面に現れている恨みや憎しみ、怒りに反応してまたこちらと同じ感情を持ちます。状況は悪化します。もしその下にある相手の苦しみや痛みや悲しみに目を向ければ、そこに解決のヒントが見出せます。

同時多発テロはアルカイダのアメリカに対する恨みや憎しみ、怒りが爆発して起きました。そしてアメリカはそれに反応してアフガニスタンやイラクを攻撃しました。仮定の問題ですが、あの時にアルカイダの苦しみや痛みや悲しみにアメリカが目を向けていたら、今とはまた違う状況になったかも知れません。

今回の3万人増派の費用は300億ドル掛かるそうです。兵士一人に100万ドル掛かる計算になります。その巨額のお金が戦争ではなく対話や経済支援に使われたら、もっとより良い結果が出るのではないのでしょうか。オバマ大統領は18ヶ月後の2011年7月にはアフガニスタンからの順次撤退を明らかにしましたが、彼の戦略がうまく行くことを私は願います。

オバマ大統領は歴代のアメリカ大統領の中では他国の文化に対する感性が高い方のように思われます。最近では日本の天皇陛下へのお辞儀がアメリカで一部の人々から批判を受けました。「お辞儀」は英語では「Bow」

言葉の意味合いの違いから

誤解や反発を生む

外国の言葉、文化を学んだ

外大卒業生の私たちには誤解・

反発をなくすための努力をする

責任があるのでは？

平成12年度フランス語学科卒業

寺尾恵さん

旅は道づれ、世は情け

パリから 120km、

私の住むサンスの町

毎日 6000 人がパリに上る

通勤電車で知り合った

日本語を話すフィリップさん

パリで柔道を教えている

となりますが、英語の「Bow」には「屈服する・服従する」という意味もあります。一つの言葉の意味合いの違いが要らざる誤解や反撥を生みます。

言葉や文化の違いから生まれる誤解や反撥を無くし、正しく相手を理解するために外国の言葉や文化を学んだ京都外国語大学卒業生の私達には、ささやかながらも自分の居る場所で日々の努力をする責任があるのではないのでしょうか。そして戦争と言う大きな人類の災厄を無くすためには自分の周りでまず争いを無くする必要があるのではないのでしょうか。

そのためには表面に現れている相手の恨みや憎しみや怒りに反応するのではなく、その原因である相手の苦しみや痛みや悲しみに目を向け、感じ取り、思いやりの心を注ぐべきだと思います。そしてその態度こそがあらゆる争いの究極的解決方法であり、また解決の後には素晴らしい友情と豊かで幸せな関係が生まれるのではと信じるこの頃です。

海外便り「フランス編」



夢の実現のためにフランスで
がんばっていらっしゃいます
平成 12 年度フランス語学科卒業
寺尾恵さんからのお便りです。

旅は道づれ、世は情け

ブルゴーニュ地方の北のはずれ、パリから南東に 120km。こんなところに私の住むサンスという町があります。古くはゴール人の町として起源をおこし、対戦中はドイツになったこともある町。一番の見所といわれているのはカテドラル、サン・テチエンヌ。1120 年に着工され世界で一番古いゴシック建築。このカテドラルの修理をする際に掘り起こされたローマ時代からの遺跡が展示されている博物館もなかなか見所。

この町から毎日 6000 の人がパリに上る。幸いにもパリ・ベルシー駅までの直通電車があるので 40 分でパリに。それを逃すと各駅の電車で一時間半の電車の旅。それでもパリは息が詰まる(家賃が高いので狭い家になってしまうのと郊外に比べて自然が少ないから)と毎日の旅人がたくさん。

私も例に漏れず旅人です。旅人の多くは家を買ったから…という人も少なくないですが、私の場合はちと事情が違う。家がみつからないのです。家を借りるのに 3 ヶ月分の給与明細が必要なので少し様子を見て 2 ヶ月ほど前から探し始めたのですが…まあ、もう少しの辛抱でしょうか？

そんな通勤電車でフィリップさんと知り合いました。なんと彼は日本語を話すのです！30 年程前に柔道で来日されたそう。今では本人曰く“おじいさん” (なんのなんの！！) になった彼ですが今では週に 3 日パリで子供たちに稽古をつけているそうです。フランスは柔道がとっても強いし、柔道人口も日本よりも多い人気のスポーツです。世界選手権でのルール変更、

フランス柔道の帯の色

黄帯、赤帯、しましま帯…

町はどどんクリスマスモード

新年に向けて

バカンス、ご馳走、パーティ…

来年が良い年でありますように！

外大校友会メンバー紹介

昭和39年度英米語学科卒業

三木右至さん

卒業後38年間兵庫県立高校で

英語教員として勤務

校友会「教志会」設立

会長として卒業生教員の育成を

本年4月本部会計担当就任

2012年校友会設立50周年

校友会ますますの発展を！

彼なりの武道に対する考え方も興味深い。そして素人の私にもっとも興味深かったのが帯の色。フランスには黄帯、赤帯、しましま帯などあるそうです。日本ではあまり聞いたことがないですが…(しかも早口言葉のよう…)

それと技の名前などはほとんど日本語のまま。それを聞いて、子供たちがフリップさんを「師匠！！」と呼ぶのを想像していたら、なんと簡単に「フリップ！！」と呼ぶのだそうで、なんとなく肩透かしをされた感じ。本人もそう呼ばれるのを好んでいるよう。実は私も武道をしていたので先生を名前で呼ぶなんてショッキング！！なのですが、どうもフランス社会を見ているとどこどこで早めの世代交代がされていて、年配者はその道を譲りつつもサポートをするといった感じ。道を譲った彼らは彼らで早く楽になってラッキー～！てなもんです。

こんな具合に電車友との尽きない会話がつづくわけです。

さて町はどどんクリスマスモードになってきてイルミネーションも始まる準備がされたり…その辺は日本のほうがいち早かったかな？これから新年に向けてバカンス、ご馳走、パーティーなのですね！！

ちよつとはやめですが、よいお年を。そして来年が(世界中で)よい年でありますように！！

*** ガンバレ、外大卒業生！ ***

京都外大校友会メンバー紹介



今回の京都外大校友会の
メンバーは
昭和39年度英米語学科卒業
会計 三木 右至さんです。

卒業後38年間、兵庫県立高等学校9校において英語教員として勤務。
平成9年に校友会「教志会」設立に関与。
本年8月迄、会長として校友会の発展と卒業生教員の育成に微力ながら尽力して参りました。

時を前後して本年4月に大阪支部の会計を辞めて本部の会計を担当することになりました。

今後は東京支部の皆様方、他支部の会員の皆様方とは「会計」として、又一会員として色々な面でお役に立てるようにと努力して参りたいと考えております。

本年10月24日には翻訳研究会設立50周年記念総会をOB会長として企画・実施致しました。2012年には校友会の設立50周年の大きな節目の年を迎えます。皆様方と一緒に校友会の益々の発展を押し進めて参りましょう。

Our small step will make this alumni association greater!

事務局

103-0024

東京都中央区日本橋小舟町

2-9 カーサ日本橋ビル 7 階

(株)グローバルメディア内

電話

03-5623-6550

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦

====事務局便り====
東京支部ホームページの立ち上げにより、ニュースレターもより活発なコミュニケーションスペースとして、皆様のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

今後も現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思えます。

皆様の更なるご協力をよろしく願いいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、

当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

=====